



学校便り

大和市立下福田小学校
令和5年3月
臨時号

学校評価の結果について

学校教育目標の具現化をめざし、今年度、職員が一丸となって取り組んできた7項目についての学校評価アンケートを昨年の11月に実施させていただきました。334名の方にご回答頂きました(回収率89.8%)。ご協力ありがとうございました。

現在、学校では、保護者・学校評議員の皆さんからいただいたアンケートをもとに、学校評価を総括し、来年度の教育活動に反映させているところです。

今回の学校便りでは、指導・支援教育部、健康・安全部、教育課程部、研究部による学校評価の総括をお示しし、学校では来年度も学校教育目標を達成できるよう、指導を継続していきます。保護者をはじめ地域の皆様には、引き続きご協力をお願いいたします。

【学校教育目標】

- ◇ よく考える子 (知)
- ◇ 健康で明るい子 (体)
- ◇ 思いやりのある子 (徳)
- ◇ がんばる子 (意)

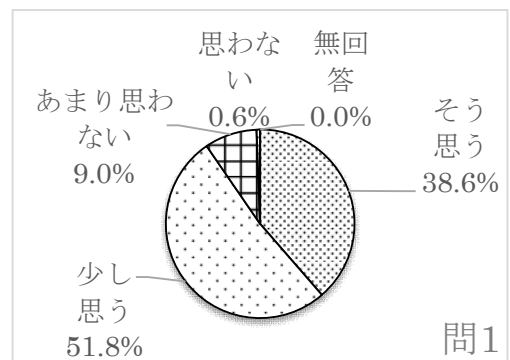
【令和4年度 重点目標】

課題解決力・自治力を発揮できる
「考えを深め、いきいきと表現できる児童の育成」

令和4年度 学校評価の総括

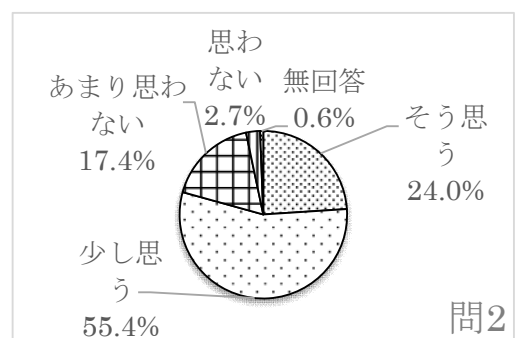
① 学校は学校の様子を保護者にわかりやすく伝えられていると思いますか。

「そう思う」「少し思う」あわせて90.4%となっており、学校便りやHP等の活用により、学校からの必要な事項は適切に伝えられていたと受け止めています。今年度は、クラス毎の授業参観や懇談会、また、土曜参観や全校での運動会の実施等、徐々に保護者の皆様に来校していただける機会が増えたこと、また、その際に多くの保護者に参観いただけたこと、感謝しています。次年度も感染対策を取りつつ、様々な児童の活動の様子を観ていただく機会を設けていきたいと考えています。



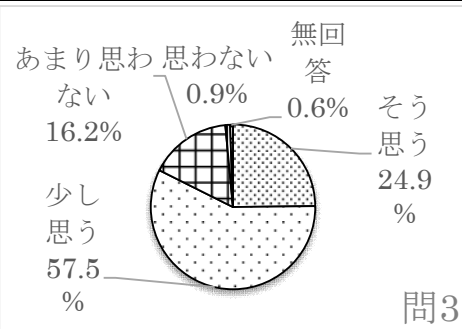
② 子供たちはあいさつができていますか。

学校としても気持ちよくあいさつすることは、とても大切なことだと認識しています。今年度も児童会・代表委員会を中心にあいさつ週間を行ってきました。しかしアンケート結果は「あまり思わない」が約17%、「思わない」が約3%という評価でした。学校での取り組みも大切ですが、そもそもあいさつは強制するものではないと考えます。そして、子供たちがあいさつによって得る気持ちよさを多く実感することによって、自然とあいさつできる心が醸成されていけばよいと考えています。



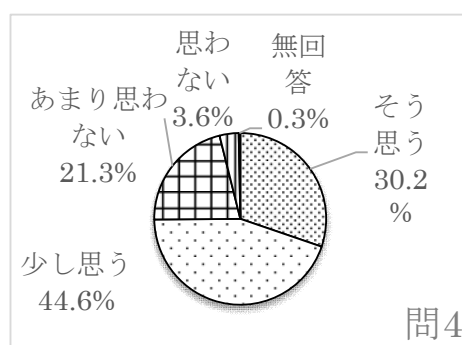
③ お子様は、意欲をもって学習に取り組んでいると思いますか？

本校では昨年度より引き続き、職員の校内研究(国語科)を中心として、「いきいきと、自分の考えを表現できる児童の育成」を目指した授業づくりに取り組んできました。頭の中で、思考・判断した内容を、いかに相手に効果的に表現し、伝えることができるかを、子供たちとともに考える学習を多く取り入れてきました。その結果「そう思う」が約 25%、「少し思う」が約 58%とあわせて 83%程度の肯定的な評価をいただきました。これは、昨年度よりも 8 ポイント程度向上しています。今年度は引き続き新型コロナウイルス感染症対策により様々な活動が制限されている一方、運動会や校外学習などは対策を講じた上で行うことができるようになりました。さらに、友達や地域の方々とのつながりを大切に感じることができる授業を取り入れたことの効果と考えております。今後も、様々な対話の場面を通して、考えをつなげたり広げたりすることで、学力向上につなげていきたいと考えています。



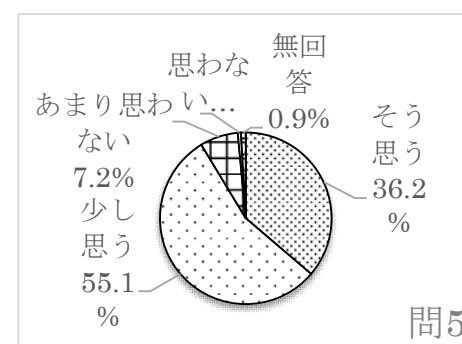
④ お子様は、本に親しんでいると思いますか

「そう思う」、「少し思う」あわせて 74.8%となり、昨年度より 10 ポイント向上しました。新型コロナウイルス感染症の影響で引き続き図書館利用の制限はありますが、今年度から昼読書が再開し、学校全体で読書に取り組んでいます。本に親しめるよう、授業内容に関連する本を廊下に置いておいたり、図書委員がスタンプラリーを企画したりしました。10 月にはブックバイキングのイベントを行い、教師がおすすめの本を各クラスで紹介しました。今後も児童が本に親しめる環境づくりに努めてまいります。なお、毎月 23 日は「やまと家読(うちどく)の日」となっていますので、ご家庭とも協力して読書活動を推進していきたいと考えています。



⑤ 学校は、保護者や地域と連携して、より良い学校作りに努めていると思いますか。

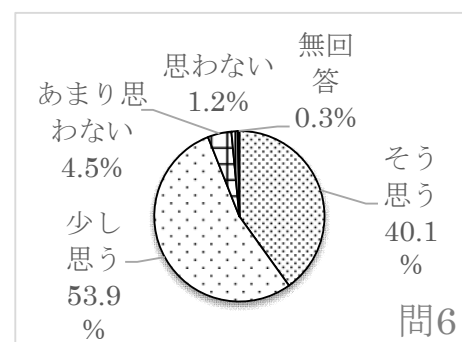
「そう思う」「少し思う」あわせて 91.3%となっており、保護者、地域との連携についてご理解いただけていると認識しています。地域の方には登下校の見守りから三角畑の管理、地域学習の講師までご協力いただいています。PTA 活動でも、運動会時の受付やパトロール、校庭の草刈り等も役員さん中心にご協力いただき、大変助かりました。また、収集にご協力いただいたベルマークで今年度は児童図書を購入していただき、児童の教育活動に繋げることができました。



学校からの連絡は学校便りや HP、緊急の場合は PS メールで配信させていただきました。また、個別のケースについては担任や中核教諭が電話や連絡帳で連絡させていただいたり、直接お話しさせていただいたりしています。引き続き、保護者の皆様や地域の方々と連携して、よりよい学校づくりに努めます。

⑥ お子様は、安心して生活していると思いますか。

今年度も「安心」「生き生き」をキーワードとした学級・学年・学校づくりの推進に向けて取り組んできました。その結果「そう思う」が約 40%「少し思う」が約 54%と合わせて 94%程度の肯定的な評価をいただきました。学校では、日頃から児童一人一人の状況把握に努めるとともに、「よりよい学校生活アンケート」を 6 月と 10 月に実施してきました。アンケート後、担任と児童が個別に面談し、児童が抱える問題に寄り添い、共に考える機会を設けてきました。また、そこで得た情報を学年内や学年間で共有し、組織的に対応することによって、「いじめ」「不登校」などの事案に対して、早期発見・早期対応に努めています。



⑦お子様は、安全を心がけて生活していると思いますか。

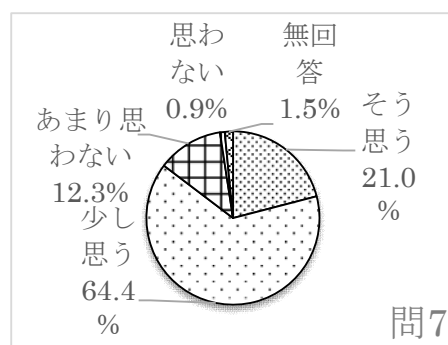
今年度も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの活動が行われています。「そう思う」「少し思う」をあわせると、約85%の肯定的な評価をいただきました。

登校指導に関しては、毎朝、校長・教頭・児童支援中核教諭などが学区を回り指導しています。学期始めには、教師も通学路に立ち、登校指導を行っています。また、登校班編成・集団下校訓練や学級指導等を通して、安全に登下校するように呼び掛けてきました。これからも指導を継続していきます。

避難訓練については、1学期に地震避難訓練、2学期にグラリ3分一斉行動訓練と火災避難訓練、3学期に予告なし地震避難訓練を行いました。いずれの訓練も、大和市学校防災マニュアルの内容を受け、訓練の計画を見直し、取り組みました。引き続き日常の生活の中でも、防災意識を高め、水災害や南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の備え・登下校中に地震が起きた場合の対応について指導していきます。また、今年度は、3年生や5年生対象の自転車に関する交通安全教室を行い、交通安全への意識高揚を図りました。また、「チリリン・タイム」という教材を各学級へ配付し、自転車の乗り方について指導をしました。

夏場には、新型コロナウイルス感染症対策と並行して、熱中症に対しても可能な限り配慮しました。状況に応じて、空調や扇風機を使用しながら、こまめな水分補給の声掛け、マスクを外す場面などの指導を徹底し、お子さんの安心・安全を最優先に学校を運営してきました。

今後も引き続き、安心・安全に向けて取り組みを実施するとともに、その中で児童が、『自分の命は自分で守る』ことの大切さや、その方法を理解し行動できるよう、取り組みの工夫・改善を行っていきます。ご家庭でも、防災・交通安全等について、お子様と語り合うなど、安全への意識高揚にむけて、ご協力をお願いします。

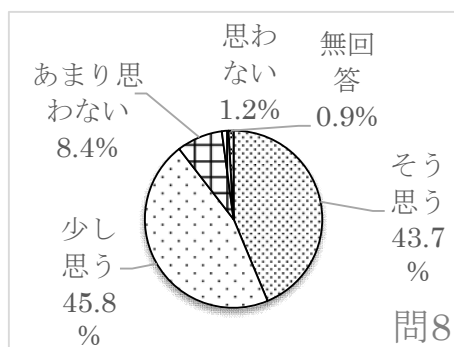


⑧学校は、新型コロナウイルス感染防止対策に努めていると思いますか。

今年度も、毎日の「健康観察チェックシート」にて、児童の健康状態を把握しながら、文部科学省や大和市のマニュアルに沿って新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできました。保護者の方からは、「そう思う」が約44%、「少し思う」が約46%と、90%程度肯定的な評価をいただきました。

昨年同様、3密を避けるために、教室内の常時換気、間隔を取った机の配置、授業での飛沫防止ガード使用などの取り組みをしてきました。11月文部科学省から「新型コロナウイルス感染症対策等の基本的対処方針」の変更等について都道府県教育委員会を通じて連絡がありましたので、今後本校では次のような方針で教育活動を進めて参ります。給食指導時において、必ず「黙食」とすることを求めず、会話を行うことも可能としていきます。マスクの着用につきましては、積極的に外すよう促しながら、引き続き、活動場所や活動場面に応じたメリハリのあるマスク着用を指導していきます。飛沫防止ガードにつきましては、今後授業中は使用しない方向で進めます。ただし、感染リスクが高い学習活動等（音読、歌唱、リコーダー演奏等）について児童が希望する場合、相談しながら丁寧な対応を心がけていきたいと思ひます。

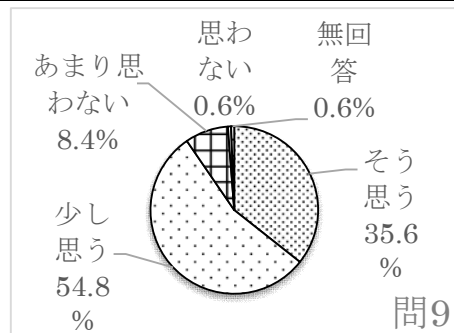
学校としましては、人との関わり合いを通じた学習の機会を少しずつ取り戻していきたいと考えておりますので、保護者の方にも引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



⑨お子様には、思いやりのある心が育っていると思いますか。

児童同士が関わり合い様々な人とのつながりを深めることで、思いやりの心が育ち、豊かな情操を培うと考えます。また、こうしたことが、いじめの未然防止になると考えています。

今年度も児童会を中心に、みんなが楽しめるような内容を自分たちで考えて、異学年交流会を行ってきました。今後も子供たちが交流する機会をできるだけ多く設けていきたいと考えています。また、スマホやゲームでの言葉遣いが心配というご意見もいただきました。日々の学校生活や道徳などを通じて相手を思いやる言葉遣いについても考えさせていきたいと思ひます。今後も互いの違いを理解し、良さを認め合う人権教育の考えを基に、思いやりの心をご家庭と連携し育てていきたいと思ひます。



主な意見と回答

学校評価につきましては、様々なご意見や励ましのお言葉を多数いただき、職員一同感謝しております。ご意見の中のいくつかについて回答させていただきます。

※類似の質問については一つにまとめさせていただくとともに、紙面の関係上要約して記載しております。

【学校からの連絡について】

- ・休校について、欠席の子供が増えてきたとき、『このまま欠席が増える場合は休校の可能性はある』と通知してもらえるとありがたいです。
- ・学級閉鎖の場合には、全校もしくは学年には、PSメールを流してほしい。
- ・学年だよりに下校時間を掲載してほしい（短縮など）
- ・プリント類の電子化。プリント類に間違いが多くある。ダブルチェックをしてほしい。

【回答】欠席状況や学級閉鎖に関するお知らせは、個人情報が含まれるため、当該学級への連絡に限定させていただいております。ご理解ください。

学年便りや緊急時における学校からののお知らせはホームページに掲載しておりますので、ご活用いただければと思います。また、配付する手紙等のチェックをていねいに行ってまいります。

【給食費集金について】

- ・給食費や教材費等を引き落としにさせていただきたいです。給食が自校給食ではなくセンター方式なので、もしかすると他の学校との兼ね合いもあるかもしれませんが、すぐには無理でも検討していただけたらと思います。集金を集めて担任の先生が中を確認しているのか事務の先生がしているのかは分かりませんが、先生方も負担が少なくなるのかな・・・と思います。
- ・給食集の集金は、兄弟姉妹合算で納めさせていただきたいです。他校では引き落としが多いと聞きます。一気にそこまでのシステム稼働は難しいかもしれませんが、集金でも合算していただけると、千円札や小銭を人数分用意する手間が省けるので・・・
- ・給食費についてですが、毎月集金で小銭等を用意する、子供に持たせる等不便に感じることがあります。引き落としや1年分まとめて集金できるといい。

【回答】電子マネー等の普及により、現金を扱うことが少なくなっている現在、みなさまのご意見はごもつともだと感じます。しかし、市において給食費の公会計化が検討され数年になります。学校独自のシステムを導入した場合、市のシステムへの切り換えが必要となり、手続きが2回生じることを考慮し、当面は現金での徴収方法を継続させていただきます。

【放課後事業について】

- ・寺子屋、ひろばを毎日利用できるようにぜひしてください。楽しみにしている様子なので。
- ・寺プロについて、学年だよりに開催日が書かれていますが、締切日も載せていただくと有難いです。
- ・寺プロなどに参加してほしいが帰ってきてしまうため、必ず参加させられる仕組みがほしい

【回答】放課後事業へのご理解、ありがとうございます。現在、すべての曜日において寺子屋もしくは放課後ひろばが開催されており、多くの児童が参加しています。これからも、参加カードと帰宅時間を確認の上、参加をさせていただきますようお願いいたします。

【アンケートについて】

- ・小学校のアンケートはなぜ記名式なのですか？

【回答】ご意見やご批判を謙虚にお聞きして、改善していくことは学校として当然の義務と認識しています。しかし、過去に無記名でアンケートを実施した折、単なる学校批判や担任批判に終始し、学校を良くするための目的が達成できなくなったことがありました。したがって、責任をもって建設的なご意見をいただくこと、個別の対応が必要なおきに迅速に連絡をとることを目的に記名方式を今後も継続してまいります。

【コロナ禍での教育活動について】

- ・学校全体でコロナに対して配慮していただいているのに感謝します。子供たちから学校が楽しい様子が伝わってきます。先日の個別面談では、兄弟二人とも学校生活での様子がものすごくわかり、日々の子供と先生方のかかわりをより一層感じることができました。一緒に育てていただいていることを実感します。これからもよろしく願います。
- ・いつも安心・安全な学校づくりをありがとうございます。

【回答】子供たちの成長のためにも、感染対策を講じながら教育活動を停滞させぬよう、教職員一同努力してまいります。今後ともご理解とご協力をよろしく願います。